

2017 オフィシャル ソフトボールルール改正点

ルール1 用語の定義(アルファベット順)			
ページ	項目	ルール改正点	ルール改正の解説
9	1-1項	<p>アルタード バット ALTERD BAT(変造バット)とは、検定された正規のバットの構造を改造したもので、バットの表面にペンキなどを塗ったり、握りの部分に余分なテープを巻いたり、コーングリップを取りつけたり、金属の握りの部分を木製のものに取り替えたりしたバットをいう。</p> <p>また、バットに名前を彫ったり、刻んだりすることは、バットのノブ側末端のみ可能である。バレル側(先端部分)に彫ると変造バットになる。 ↑ この下線部分削除</p>	<p>ルール1-1項 アルタード バット ALTERD BAT(変造バット)の文末を削除</p> <p>ルール1-1項の「バレル」という表現が一般的でなく、わかりにくい。また、名前を彫ったり、刻んだりすることは、バットのノブ側末端のみ可能と明記されているため、この部分の記述はなくとも良いと判断し、削除した。</p>
ルール2 競技場			
23	2-1項	<p>競技場の諸条件</p> <p>1. 競技場は平坦で、障害物のない地域であり、その上方空間を含む。</p> <p>2. フェア地域は、両ファウルラインと、本塁(ホームプレート)から、男子:68.58m以上、女子:60.96m以上の半円の円弧に囲まれた地域である。</p> <p>(注) <u>ISF(国際ソフトボール連盟)ルール</u>では、2002年から男子:76.20m以上、女子:67.06m以上に改正されている。</p> <p>↓ 下線部分を修正</p> <p>(注) <u>国際ルール</u>では、2002年から男子:76.20m以上、女子:67.06m以上に改正されている。</p>	<p>ルール2-1項 競技場の諸条件 2(注)の文章表現修正</p> <p>ルール2-1項(注)の「ISF(国際ソフトボール連盟)ルールでは」の部分を「国際ルールでは」に修正。WBSC(世界野球ソフトボール連盟)の設立により、「ISF(国際ソフトボール連盟)」という組織は存在しなくなったため、表記を「国際ルール」とした。</p>
ルール3 用具			
34	3-4項	<p>靴(シューズ)</p> <p>1. 靴はすべてのプレイヤーが使用しなければならない。</p> <p>2. 靴の底は、滑らかな軟らかみのあるものか、硬い滑り止めのあるものである。</p> <p>3. 金属製スパイク、または硬い滑り止めは、靴底からの高さが1.9cm以内のものが使用できる。</p> <p>(注1) <u>ISF(国際ソフトボール連盟)ルール</u>では、ジュニア(19歳以下)の金属製スパイクの使用を禁止している。</p> <p>↓ 下線部分を修正</p> <p>(注1) <u>国際ルール</u>では、ジュニア(19歳以下)の金属製スパイクの使用を禁止している。</p>	<p>ルール3-4項 靴(シューズ) 3(注1)の文章表現修正</p> <p>ルール3-4項3(注1)の「ISF(国際ソフトボール連盟)ルールでは」の部分を「国際ルールでは」に修正。 修正理由は前出、2-1項2(注)の修正と同じ。</p>
		<p>(注2) 小学生、中学生、一般男子、壮年、実年、シニア、ハイシニア、レディース、エルダー、エルデストは金属スパイクの使用を禁止する。</p> <p>↓ 下線部分を追加修正</p> <p>(注2) 小学生、中学生、一般男子、壮年、実年、シニア、ハイシニア、<u>教員</u>、レディース、エルダー、エルデストは金属スパイクの使用を禁止する。</p>	<p>ルール3-4項 靴(シューズ)</p> <p>3(注2)の教員種別の追加 ルール3-4項3(注2)の金属スパイク禁止種別に、競技種別から生涯種別に変更された「教員、」を追加(追加する場所は「ハイシニア、」の後、「レディース」の前に追加)。</p>
34	3-5項	<p>マスク・プロテクター・レガーズ・ヘルメット</p> <p>1. マスク・捕手用ヘルメット 捕手はスロートガード付きマスク・捕手用ヘルメットを着用しなければならない。<u>(捕手用ヘルメットはISA検定マークが入っているものを着用することが望ましい)</u></p> <p>(注) 準備投球のとき、競技場内のいかなる場所で投球練習するときも必ず着用しなければならない。</p> <p>↓ 下線部分の新設・追加・修正</p>	<p>ルール3-5項 マスク・プロテクター・レガーズ・ヘルメット 1. マスク・捕手用ヘルメット(注1)(注2)追加</p>

	<p>1. マスク・捕手用ヘルメット</p> <p>捕手はスロートガード付きマスク・捕手用ヘルメットを着用しなければならない。</p> <p>(注1)捕手用ヘルメットはJSA検定マークが入っているものを着用することが望ましい。ただし、2020年度からはJSA検定マークが入っているものを着用しなければならない。</p> <p>(注2)捕手用マスクはSGマークが入っているものを着用することが望ましい。ただし、2019年度まで猶予期間とし、2020年度からはSGマークが入っているものを着用しなければならない。(※SGマークとは一般財団法人製品安全協会の定める基準に適合したものを指す)</p> <p>(注3)準備投球のとき、競技場内のいかなる場所で投球練習するときも必ず着用しなければならない。</p>	<p>(注1)捕手用ヘルメットはJSA検定マークが入っているものを着用することが望ましい。ただし、2020年度からはJSA検定マークが入っているものを着用しなければならない。</p> <p>(注2)捕手用マスクはSGマークが入っているものを着用することが望ましい。ただし、2019年度まで猶予期間とし、2020年度からはSGマークが入っているものを着用しなければならない。(※SGマークとは一般財団法人製品安全協会の定める基準に適合したものを指す)以上を新設・追加し、現行の(注)を(注3)とした。</p>
ルール4 プレイヤーと交代		
47	<p>4-8項 プレイヤーのマナー</p> <p>1. チームのメンバーは、審判員の判定に対し、不服の言動や不満の態度を示してはならない。</p> <p>2. チームのメンバーは、競技施設内(ベンチを含む)で喫煙してはならない。(競技施設内では指定された場所以外では喫煙してはならない)</p> <p>3. 攻撃側チームのメンバーは、試合中いかなるときも、故意に打者席のラインを消してはならない。</p> <p>(注) ISF(国際ソフトボール連盟)ルールでは、打者がラインを消した場合は、ボールデッドとなり、打者に対してワンストライクが宣告される。監督・コーチやプレイをしていない攻撃側のメンバーがラインを消した場合には、次の打順のプレイヤーに対してワンストライクが宣告される。</p> <p style="text-align: center;">↓ 下線部分を修正</p> <p>(注) <u>国際ルール</u>では、打者がラインを消した場合は、ボールデッドとなり、打者に対してワンストライクが宣告される。監督・コーチやプレイをしていない攻撃側のメンバーがラインを消した場合には、次の打順のプレイヤーに対してワンストライクが宣告される。</p>	<p>ルール4-8項 プレイヤーのマナー 3(注)の文章表現修正</p> <p>ルール4-8項3(注)の「ISF(国際ソフトボール連盟)ルールでは」の部分を「国際ルールでは」に修正。 修正理由は前出、2-1項2(注)の修正、3-4項3(注1)と同じ。</p>
ルール7 打撃		
68	<p>7-3項 打撃姿勢</p> <p>3. 打者は、試合中いかなるときも、故意に打者席のラインを消してはならない。</p> <p>(注) ISF(国際ソフトボール連盟)ルールでは、打者がラインを消した場合は、ボールデッドとなり、打者に対してワンストライクが宣告される。また、監督・コーチやプレイをしていない攻撃側のメンバーがラインを消した場合には、次の打順のプレイヤーに対してワンストライクが宣告される。</p> <p style="text-align: center;">↓ 下線部分を修正</p> <p>(注) <u>国際ルール</u>では、打者がラインを消した場合は、ボールデッドとなり、打者に対してワンストライクが宣告される。監督・コーチやプレイをしていない攻撃側のメンバーがラインを消した場合には、次の打順のプレイヤーに対してワンストライクが宣告される。</p> <p>4. 打者は、投球間にサインの確認や素振りをするとき、打者席内に片足をおいておかななければならない。</p> <p>【例外】</p> <p>(1) フェア、ファウルに関わらず、打者が投球を打ったとき。 ≪【例外】(2)~(7)省略≫</p> <p>(注) ISF(国際ソフトボール連盟)ルールでは、打者が【例外】の場合を除き、打者席から両足を外した場合、打者に対してワンストライクが宣告される。</p> <p style="text-align: center;">↓ 下線部分を修正</p> <p>(注) <u>国際ルール</u>では、打者が【例外】の場合を除き、打者席から両足を外した場合、打者に対してワンストライクが宣告される。</p>	<p>ルール7-3項 打撃姿勢 3(注)及び4(注)の文章表現修正</p> <p>ルール7-3項3(注)及び4(注)について「ISF(国際ソフトボール連盟)ルールでは」の部分を「国際ルールでは」に修正。</p> <p>修正理由は前出、2-1項2(注)の修正、3-4項3(注1)、4-8項3(注)と同じ。</p>

ルール8 走塁		
94	8-6項	<p>走者アウト</p> <p>13. 投球が投手の手から離れる前に走者が塁から離れた</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"><効果> 13</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">(1) ボールデッド。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">(2) 走者アウト</p> <p>(注1) 2人以上の走者が同時に離塁違反をしたときは、“アウト”の宣告の早い方がアウトになる。 ほぼ同時の場合は、本塁に近い方の走者がアウトになり、他の走者は投球時に占めていた塁に戻らなければならない。</p> <p>(注2) 「不正投球」の宣告と「離塁違反」の宣告がほぼ同時であったときは「不正投球」を適用する。</p> <p style="text-align: center;">↓ 下線部分を追加修正</p> <p>(注1) <u>同一投球時</u>、2人以上の走者が同時に離塁違反をしたときは、“アウト”の宣告の早い方がアウトになる。</p> <p><u>“アウト”の宣告が</u>、ほぼ同時の場合は、本塁に近い方の走者がアウトになり、他の走者は投球時に占めていた塁に戻らなければならない。</p> <p>(注2) 「不正投球」の宣告と「離塁違反」の宣告がほぼ同時であったときは「不正投球」を適用する。</p>
		<p>ルール8-6項 走者アウト</p> <p>13(注1)の文章表現修正</p> <p>ルール8-6項13(注1)の文章表現を下記の通り修正</p> <p>(注1) 同一投球時、2人以上の走者が同時に離塁違反をしたときは、“アウト”の宣告の早い方がアウトになる。</p> <p>“アウト”の宣告が、ほぼ同時の場合は、本塁に近い方の走者がアウトになり、他の走者は投球時に占めていた塁に戻らなければならない。</p>